

5月17日

2017年  
(平成29年)

水曜日  
第18834号(国刊)  
土・日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

# 鉄鋼新聞

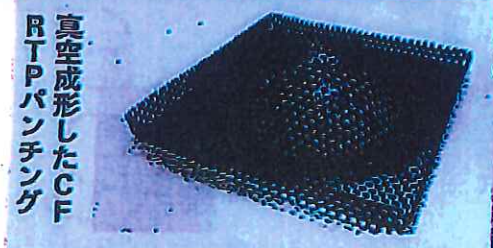
東レグループ/東レプラスチック精工様との共同出願  
『熱可塑炭素繊維樹脂基材からなる多孔構造体  
及びその製造方法 (CFRTPパンチング)』の特許を取得!!!

## CFRTPのパンチング 奥谷金網製作所の 製品が特許登録 世界初

ステンレス・アルミ・鉄などのパンチングメタルを中心とした総合金網メーカーの奥谷金網製作所(本社・兵庫県神戸市、社長・奥谷智彦氏)は先月23日、東レプラスチック精工との共同出願した熱可塑炭素繊維樹脂基材(CFRTP)パンチングの内容が特許登録された。発明の名称は、「熱可塑炭素繊維樹脂基材からなる多孔構造体及びその製造方法」CFRTPのパンチングでは世界初となる。

使用するCFRTP素材の引張強度を上げ強度はアルミ以上。自動車部品・IT機器・航空宇宙だけでなく、意匠性が高いことからさまざまな施設に活用可能。また、CFRTPパンチングは、ステンレスパンチングメタルに比べ耐食性に優れ、沿岸近郊における塩害によるさびなどの問題が発生しない。奥谷社長は「特殊なパンチング加工技術の製造方法と短繊維CFからなる熱可塑炭素繊維素材で特許登録できたのは嬉しい。リサイクルが可能で、環境に優しいのもCFRTPパンチング魅力の一つ。今後は、さまざまな媒体に活用できる同パンチングのPRと販に尽力する」と話す。CFRTPパンチングは、既に屋外のスピーカーカバーやレース用車両に採用されており、今後は自動車用途への一層の拡大が期待される。

奥谷金網製作所は、2012年から樹脂パンチングの製造を開始。13年の展示会でCFRTP素材の活用を模索していた東レプラスチック精工と共同開発を進め、今回の出願に至った。CFRTPは軽量化や環境に配慮した素材であることから、北米・欧州を中心に自動車や航空業界からの需要が高まっている。また、30年には炭素繊維関連市場規模が5兆円になると予想される素材だ。



真空成形したCFRTPパンチング

総合金網・パンチングメタルメーカー1895  
株式会社 奥谷金網製作所



2017年5月17日

- 口神戸本社 〒650-0025 兵庫県神戸市中央区相生町4丁目5-5 TEL(078)351-2531/FAX(078)361-1484
- 口姫路営業所 〒670-0825 兵庫県姫路市市川橋通2丁目5-0-3 TEL(079)288-0458/FAX(079)288-2077
- 口東京営業所 〒110-0016 東京都台東区台東4丁目29-15-305 TEL(03)5812-7795/FAX(03)5812-7796
- 口明石工場 〒651-2124 兵庫県神戸市西区伊川谷町(神戸鉄工団地内) TEL(078)974-1907/FAX(078)974-1959
- 口堺工場 〒587-0011 大阪府堺市美原区丹上460 TEL(072)361-9121/FAX(072)361-9122
- 口シカゴ事務所 Illinois, U.S.A. / 口デュッセルドルフ事務所 Düsseldorf, GERMANY



http://www.okutanikanaami.co.jp

奥谷金網 検索